

## 父母と教師の教育を語る会「教育講演会」

(豊かな教育を創造する県民会議 主催)

日時:2017 年 9 月 20 日(水) 14:30~16:30

会場:日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

講師:金田一 秀穂 さん

(言語学者 杏林大学外国語学部教授)

【子どもに伝えたい日本語の魅力】

上記、日程において開催されました「教育講演会」に春日井市小中学校 PTA 連絡協議会より 7 名参加。

昨今においては教育改革が盛んに叫ばれ、日々改革が進む学校教育の現状。ここで改めて教育とは何か、子ども達の健やかなる成長を、保護者・県民・教員・教育関係者がともに手を携え、今後の取り組み方などに向けての共通理解を深めることを目的とする。

講師には、我が国の日本語教育の場において、貢献されておられる金田一秀穂氏。演題には「日本語の～」とあるが、講演の内容は、もう少し幅広く「教育とは何ぞや？」氏の考え、方向性を述べられるものであった。

\*\*\*\*\*

教育＝教え、育てること、次世代に伝え教えていきたいこと、またその手段とは。具体的な教育改革として、英語科の早期導入や道徳の必須科目化など。教育改革や改善化は日々変化し続けるが、もっと根底にあるものを見直し考えたい。“人生は日々勉強である”が勉強とは、主に知識を得ることである。しかし、単に知識を得ることだけが、勉強の目的なのだろうか。

その分野に限っては、過去のデータを膨大に蓄積し判定をする機械(AI)に取って代わられている。

我々が教え伝えるべきことは、「知識そのもの」ではなく、その「知識を得る方法・選択や考える技術」である。

約 2500 年前の古代ギリシアの哲学者、アリストテレスが示した「教育思想・目標」から《自分で考える・判断する・表現する》  
時代に合わせて、自立し自己啓発する術を得るの意

氏の見解として…その教えは間違っておらず、如何に「人として人らしく生きるか」。効率主義が最良とされ、「社会に役立つ人になろう」などと謳っていないだろうか。

人間力を育て上げることが教育であり、伝えていかなければならないことである。我々教育者(保護者含め)の立場の人間が「人生を愉しみ、勉学を楽しむ」ことが重要。  
効率至上主義を真っ向から否定し、人として幸せに生きること＝それが教育と考える。

また言葉、対話を 大事にしたい。  
極めてアナログ的なことであるが、質問がありそれに対する応え(答え)がある。積極的な対話から考えが広がり、更にそれは有益なものとなってゆくであろう。

教育とは無償の原理であり、それは子育てにつながる。  
子育ては常に無償、奉仕、義務でもある。  
「教育の原点は家庭から」をしっかりと心に留めて日々の子育て、教育に臨みたいものである。

\*\*\*\*\*

講演の内容から、教育(教え育てる)とは、知識の詰め込みを指すのではなく、これまで私達が経験してきたことを踏まえ、それを子ども達に伝えること。  
それにはまず自分自身が人生を楽しむことが大切。  
「好きこそものの上手なれ」という言葉に表されるように、好きなことを続けていくうちに上手くなる。それから「継続は力なり」、それはいつか大成に繋がるであろう。  
ただし「継続すること」は非常に困難であり、努力や忍耐をも大いに必要とすると思われるがちである。

しかし、何事にも興味を持ち、それを十分に楽しむことが出来るのならば、困難なこととは、容易なことにも変わりうるのである。  
「まずは自分が楽しむ」「子育てを、そして教育を楽しむ」ことが大切である、との気持ちを日々忘れず、子ども達と向き合っていきたい。  
教育であり子育てを見直す、このような良い機会を与えて下さった金田一先生はじめ、関係者各位に感謝申し上げます。“人間力を磨く”その教えを忘れずに。